【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2003-92661(P2003-92661A)
【公開日】平成15年3月28日(2003.3.28)
【出願番号】特願2001-283359(P2001-283359)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/028
　Ｇ０６Ｔ　1/00
　Ｈ０４Ｎ　1/19
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/028　Ｚ
　Ｇ０６Ｔ　1/00　４２０Ｂ
　Ｈ０４Ｎ　1/04　１０２

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月26日(2004.8.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
　画像の読取対象となる原稿の読取面を照射する光源と、この光源から照射された光のうち、前記原稿の読取面において反射された反射光を所定位置において結像させるレンズと、このレンズを通過した前記原稿からの反射光を画像読取情報に変換する画像読取手段と、前記光源、前記レンズ、前記画像読取手段を所定位置において収納保持するとともに、その長手方向の長さが前記原稿の幅よりも長くなるように形成された筐体と、この筐体の長手方向に沿って形成され、前記筐体の剛性を補強することにより前記筐体がその長手方向に対して垂直に撓むことを防止し、前記原稿の読取面と前記画像読取手段間の焦点光路長を一定に保つ撓み防止手段とを設けたことを特徴とするイメージセンサ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
　撓み防止手段は、画像の読取対象となる原稿に対し、所定距離離隔して筐体に設けられるガラスプレートを上面に向けた状態において、筐体の長手方向の中央部がその両端部に対して凹状に撓んだ筐体に設けられることを特徴とする請求項１に記載のイメージセンサ。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
　撓み防止手段は、画像の読取対象となる原稿に対し、所定距離離隔して筐体に設けられるガラスプレートを上面に向けた状態において、筐体の長手方向の中央部がその両端部に

対して凸状に撓んだ筐体に設けられることを特徴とする請求項１に記載のイメージセンサ。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
【課題を解決するための手段】
この発明に係るイメージセンサは、画像の読取対象となる原稿の読取面を照射する光源と、この光源から照射された光のうち、前記原稿の読取面において反射された反射光を所定位置において結像させるレンズと、このレンズを通過した前記原稿からの反射光を画像読取情報に変換する画像読取手段と、前記光源、前記レンズ、前記画像読取手段を所定位置において収納保持するとともに、その長手方向の長さが前記原稿の幅よりも長くなるように形成された筐体と、この筐体の長手方向に沿って形成され、前記筐体の剛性を補強することにより前記筐体がその長手方向に対して垂直に撓むことを防止し、前記原稿の読取面と前記画像読取手段間の焦点光路長を一定に保つ撓み防止手段とを設けたものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、この発明に係るイメージセンサは、画像の読取対象となる原稿に対し、所定距離離隔して筐体に設けられるガラスプレートを上面に向けた状態において、筐体の長手方向の中央部がその両端部に対して凹状に撓んだ筐体に撓み防止手段が設けられたものである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、この発明に係るイメージセンサは、画像の読取対象となる原稿に対し、所定距離離隔して筐体に設けられるガラスプレートを上面に向けた状態において、筐体の長手方向の中央部がその両端部に対して凸状に撓んだ筐体に撓み防止手段が設けられたものである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
【発明の効果】
この発明に係るイメージセンサは、画像の読取対象となる原稿の読取面を照射する光源と、この光源から照射された光のうち、前記原稿の読取面において反射された反射光を所定位置において結像させるレンズと、このレンズを通過した前記原稿からの反射光を画像読取情報に変換する画像読取手段と、前記光源、前記レンズ、前記画像読取手段を所定位置において収納保持するとともに、その長手方向の長さが前記原稿の幅よりも長くなるように形成された筐体と、この筐体の長手方向に沿って形成され、前記筐体の剛性を補強す

ることにより前記筐体がその長手方向に対して垂直に撓むことを防止する撓み防止手段とを設けたので、密着型イメージセンサの長手方向の剛性を補強することができ、イメージセンサの自重により撓むことを抑制できる。